

令和6（2024）年6月18日（火）

第1回宇都宮地域医療構想調整会議並びに  
宇都宮構想区域病院及び有床診療所会議 合同会議

**資料3-2**

# 宇都宮医療圏における 入院医療の提供状況等

令和6年6月18日

栃木県保健福祉部医療政策課

# 現状と今後の課題

- 人口は減少するものの、**老年人口の増加に伴って医療需要（推計患者数）全体は増加**する見込みであり、「循環器系」「呼吸器系」「筋骨格系及び結合組織の疾患」など高齢者に多い疾患に対応した医療提供体制を確保する必要がある
- 入院患者の流出入については次のような特徴が見られ、将来の医療提供体制のあり方を考える上では患者の流出入の変化や圏域外の医療機関の状況等も考慮する必要がある
  - (1) 流入
    - 「鹿沼市」「日光市」「さくら市」「高根沢町」「那須烏山市」など**隣接市町からの流入が顕著**で、**主に高齢者**が圏域をまたいで宇都宮市内の医療機関へ入院している
    - **流入患者の入院先を見ると、広く患者を受け入れている病院がある一方で、傾向としては、宇都宮圏域の中でも患者住所地に近い病院へ流入患者が入院している**
  - (2) 流出
    - 県南圏域への流出が多く、特に**「壬生町」「下野市」への流出**が突出している（壬生町にある「獨協医科大学病院」には市南西部、下野市にある「自治医科大学附属病院」には市南東部に住む患者が多く入院している）
    - 流出患者の**多くは高齢者**であり、疾患別に見ると**「新生物〈腫瘍〉」「循環器系の疾患」「消化器系の疾患」「損傷、中毒およびその他の外因の影響」**の割合が多い
- 多くの医療機関で「循環器系疾患」「消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患」「筋骨格系疾患」「外傷・熱傷・中毒」の手術を行っており、高齢者に多い疾患に係る医療を提供しているが、疾患・領域ごとに機能集約・分散について検討する必要がある
- **5つの病院**（「済生会宇都宮病院」「NHO栃木医療センター」「宇都宮記念病院」「JCHOうつのみや病院」「NHO宇都宮病院」）で**救急搬送受入件数の約88%に対応**しているが、いずれの医療機関も受入れの限界に達しており、救急医療提供体制の見直しが急務である

# 宇都宮医療圏 公立・公的医療機関の概要

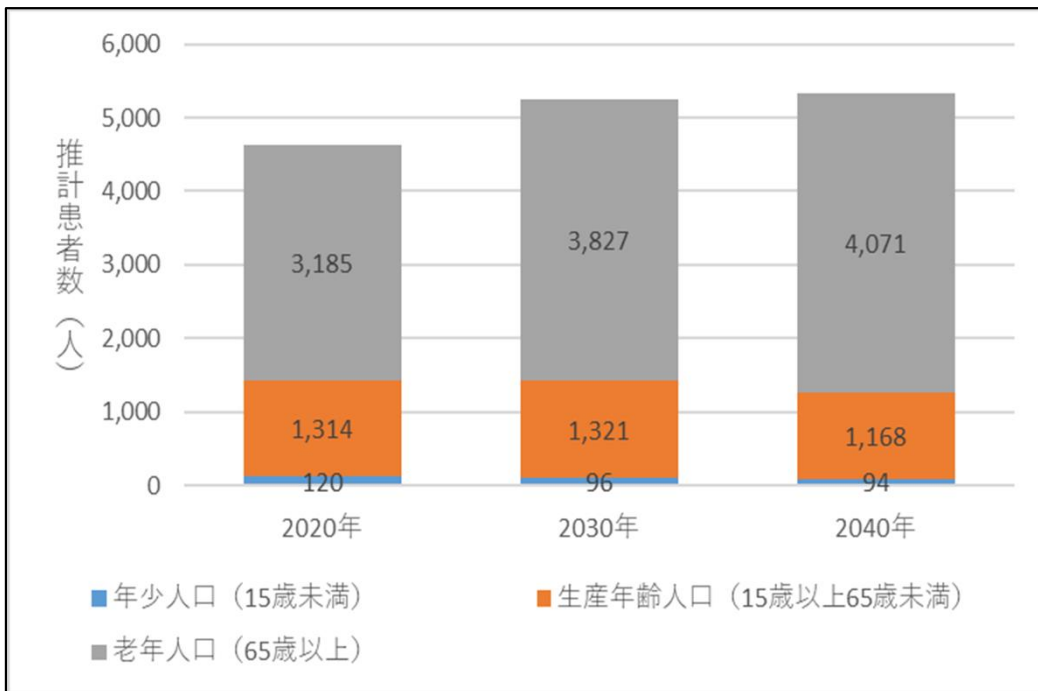
医療機関名	医療機能（病床数）	病床稼働率	人員(R5)	R4新規入院患者数	R4平均在院日数 (DPC対象)
	※病床機能報告（岡本台病院はHP情報）				
済生会宇都宮病院 <sup>1</sup>	高度急性期（479） 急性期（165）	82.9%	Dr常勤換算：239.6人 Ns常勤換算：685.3人	19,414人	11.76日
国立病院機構栃木医療センター <sup>1</sup>	高度急性期（12） 急性期（183）	79.7%	Dr常勤換算：64.3人 Ns常勤換算：295.1人	8,320人	13.26日
国立病院機構宇都宮病院	急性期（130） 回復期（60） 慢性期（150）	77.1%	Dr常勤換算：33.4人 Ns常勤換算：227.5人	3,660人	10.90日
地域医療機能推進機構うつのみや病院	急性期（98） 回復期（95）	69.4%	Dr常勤換算：29.6人 Ns常勤換算：147.1人	2,721人	12.70日
栃木県立がんセンター	急性期（225）	48.3%	Dr常勤換算：65.0人 Ns常勤換算：217.8人	6,120人	10.36日
栃木県立リハビリテーションセンター	回復期（120） 慢性期（33）	69.5%	Dr常勤換算：14.7人 Ns常勤換算：170.0人		51.62日
栃木県立岡本台病院	精神（221）	46.8%	Dr常勤換算：19.0人 Ns常勤換算：112.0人		

<sup>1</sup> 医師の働き方改革における特定労務管理対象機関として「特定地域医療提供機関(B水準)」(救急医療)の指定を受けている

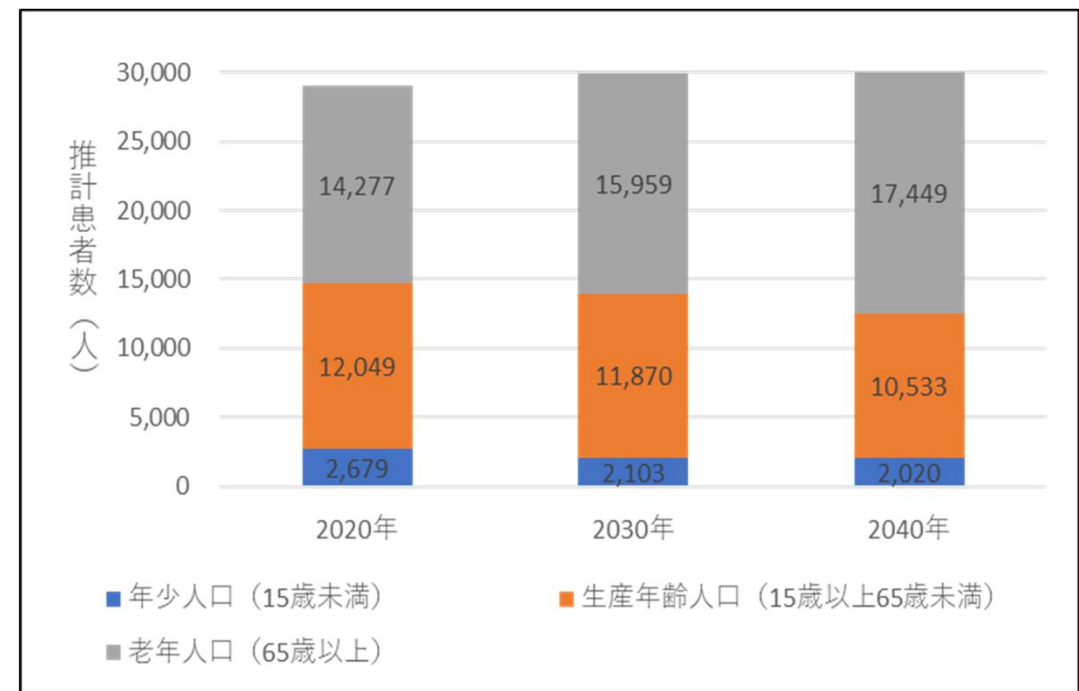
# 宇都宮医療圏の医療需要推計（H29受療率×人口推計）

- 宇都宮圏域の人口は減少するが、**老年人口の増加に伴って医療需要は増加**
- 年齢構成で見ると、入院・外来ともに老年人口における患者数が増加
- 高齢者の増加に伴い**医療介護の複合ニーズを有する患者への対応**が益々重要になる

## 医療需要（入院）



## 医療需要（外来）



出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」、厚生労働省「平成29年患者調査」より作成

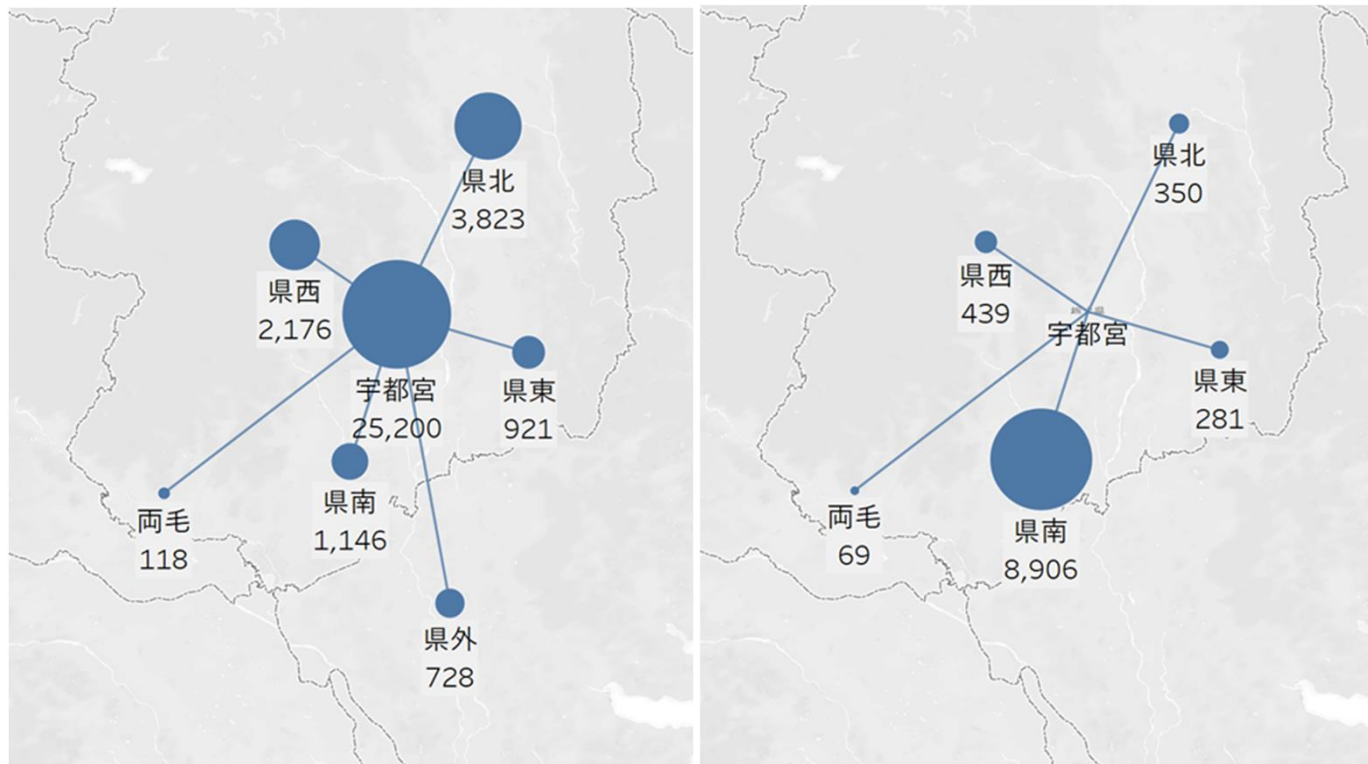
# 宇都宮医療圏の入院患者流出入状況（令和4年度DPCデータ）

- 宇都宮圏域の患者の流入割合は他圏域よりも比較的高く、**特に県北、県西地域からの流入が顕著**
- 一方で、県南圏域への患者の流出が一定程度見られるものの、その他の圏域への流出は少ない
- 将来の医療需要への対応を検討する際は、**流出入の変化等についても考慮**する必要がある

## 宇都宮医療圏

流入 8,912人

流出（県内のみ） 10,045人



圏域	流入割合	流出割合
宇都宮	26.1%	28.5%
県北	6.7%	22.8%
県西	11.8%	41.4%
県東	12.2%	37.0%
県南	48.9%	7.8%
両毛	20.1%	12.4%

### 【流入割合】

医療圏内の施設に入院した患者のうち、他医療圏の患者が占める割合

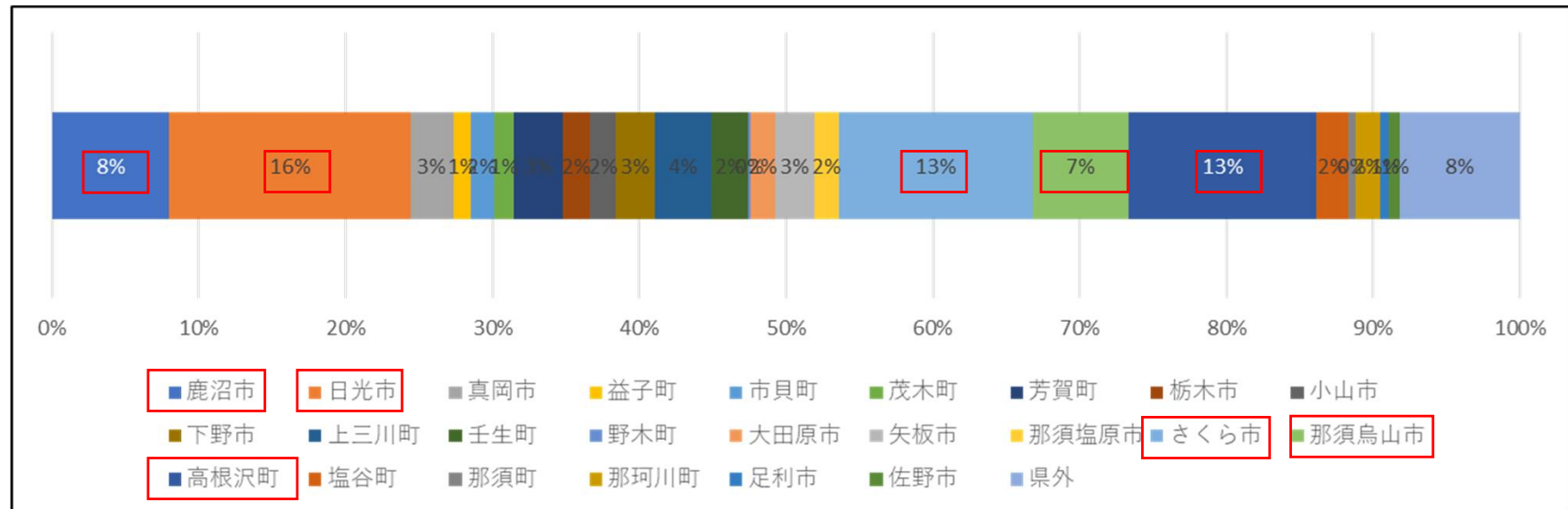
### 【流出割合】

医療圏内の患者のうち、他医療圏の施設に入院した患者が占める割合

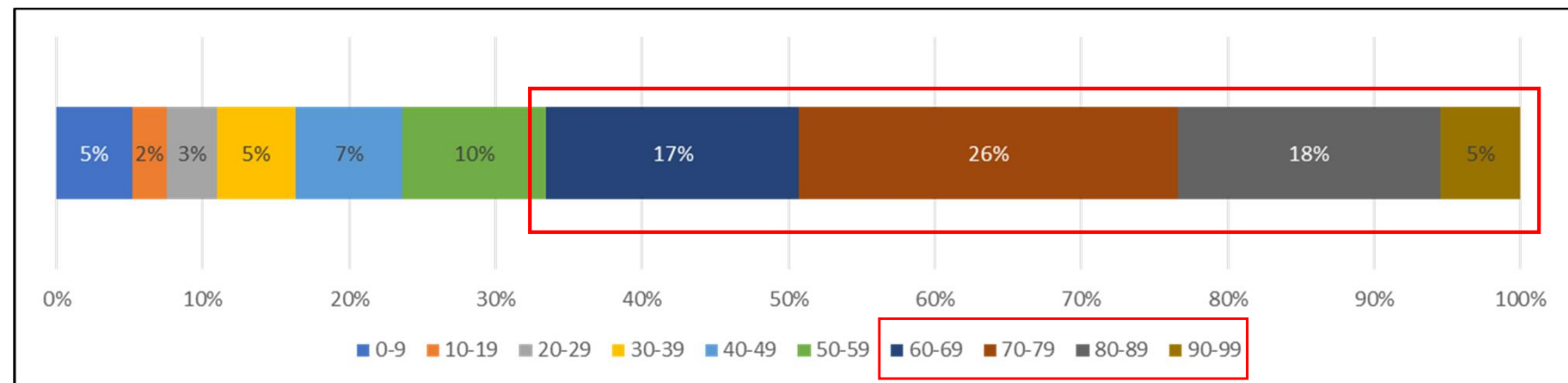
# 宇都宮医療圏の入院患者の流入内訳①（令和4年度DPCデータ）

- 宇都宮圏域に流入した入院患者の市町別の割合を見ると、「日光市」「さくら市」「高根沢町」「鹿沼市」「那須烏山市」の順に多い
- 流入した入院患者の年齢階級別の割合を見ると、「70代」「80代」「60代」の順に多い  
⇒ 隣接市町から**主に高齢者が圏域内の医療機関に入院**している状況

市町別  
流入割合

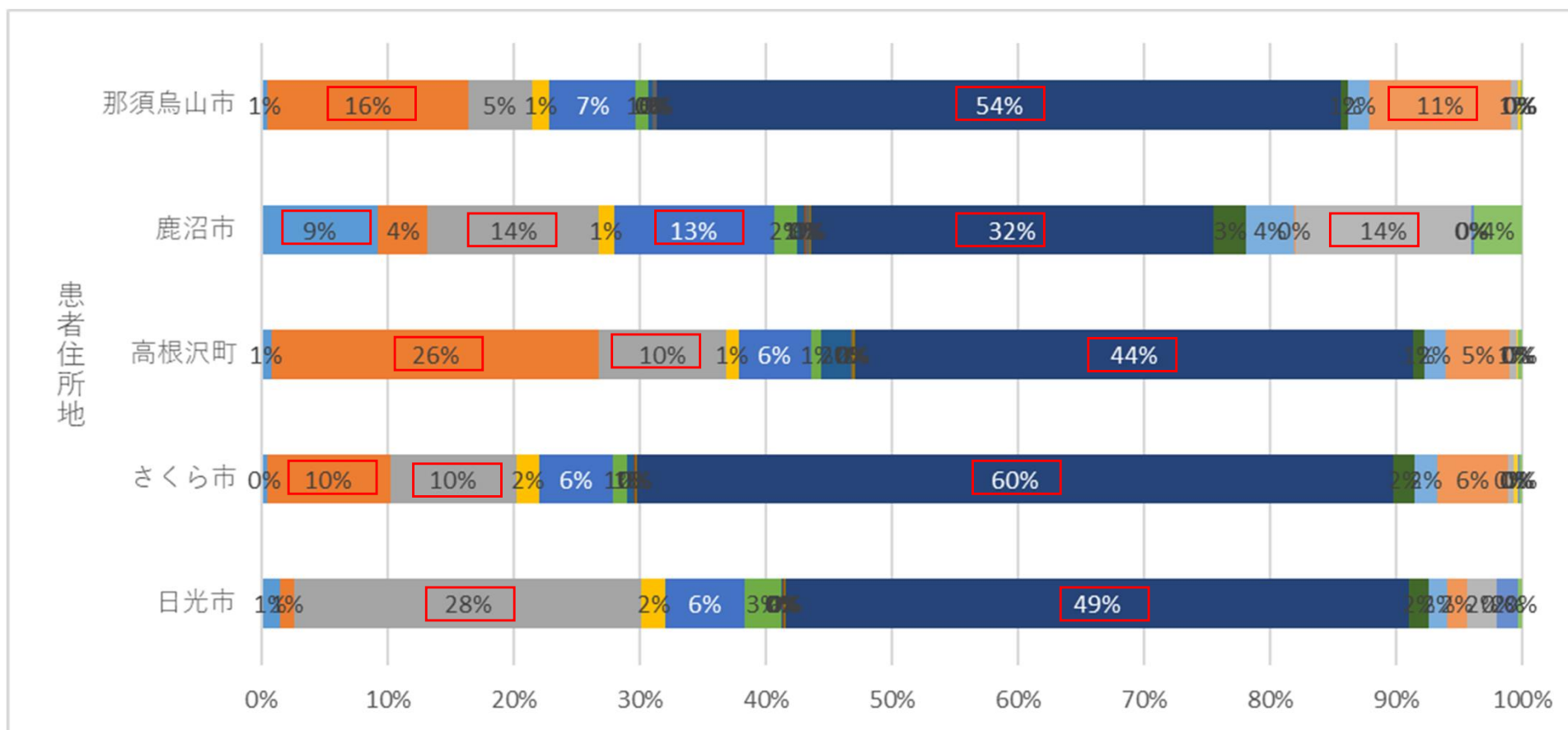


年齢階級別  
流入割合



# 宇都宮医療圏の入院患者の流入内訳②（令和4年度DPCデータ）

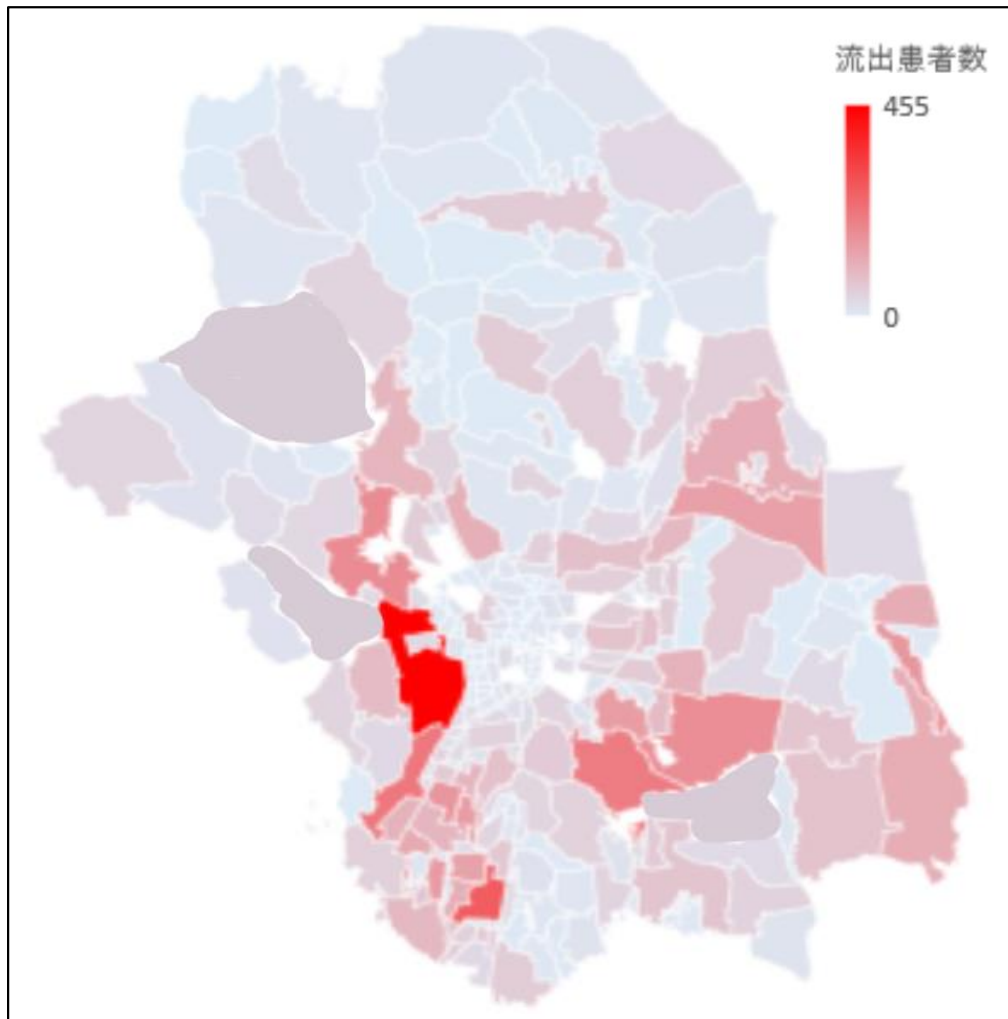
- 宇都宮圏域に流入した入院患者の市町別割合が多い上位5市町の患者入院先を見ると、**1つの医療機関が幅広く流入患者を受け入れている**
  - **県西圏域**については、**鹿沼市の入院患者は幅広い医療機関**で受け入れているが、**日光市の患者は主に2つの医療機関**で受け入れている状況
  - **県北圏域**については、**那須烏山市、高根沢町、さくら市の患者ともに、主に3つの医療機関**で受け入れている状況
- ⇒ 下記のグラフでは医療機関名を伏せているが、流入患者の居住地と入院先医療機関との間には**一定程度の地理的な関連（地域性）**があり、流入患者の住所地に近い宇都宮市内の医療機関が患者を受け入れている



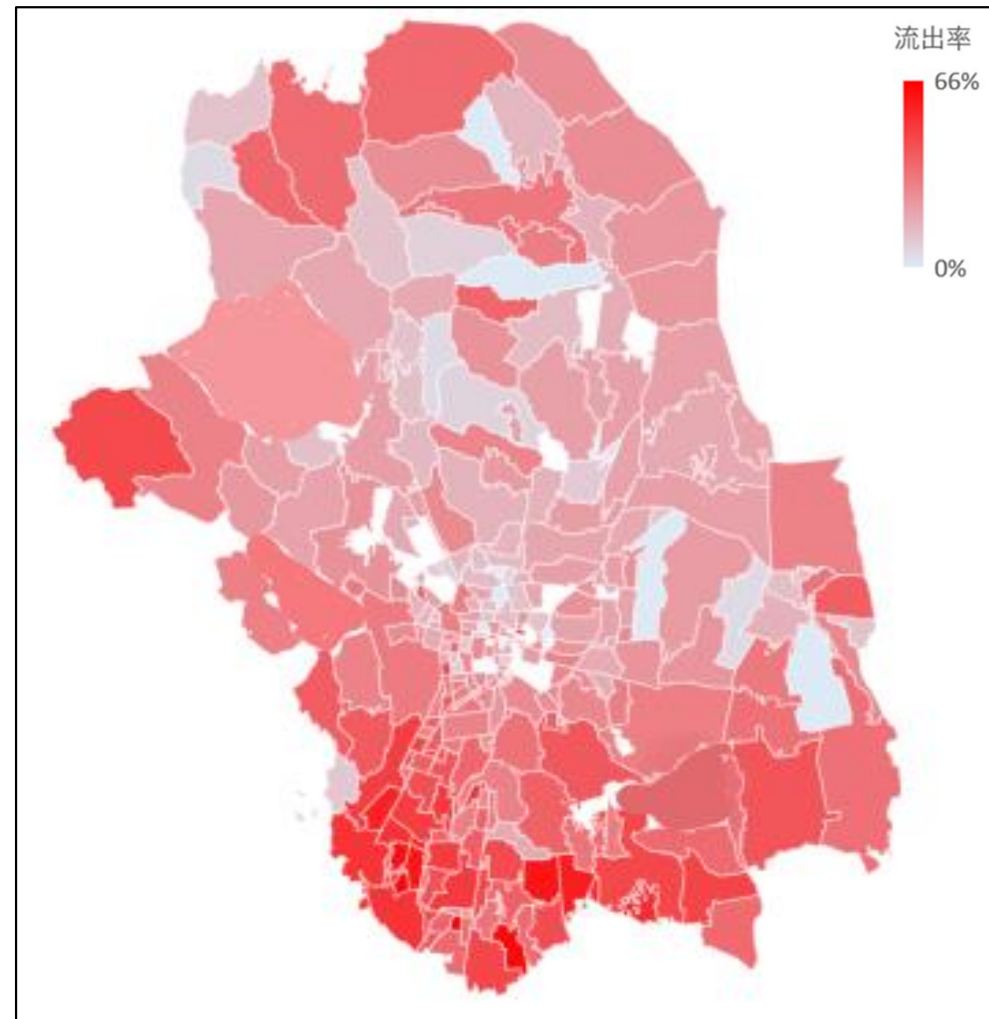
# 宇都宮医療圏在住の入院患者の流出状況①（令和4年度DPCデータ）

- 宇都宮市在住の入院患者の流出数を町名別に見ると、**市南西部、南東部の流出数が多い傾向**にある
- 流出率で見ても、傾向は同様であり、市南西部、南東部に住む入院患者の流出が比較的高い割合となっている

流出患者数（宇都宮在住で市外の医療機関へ入院した患者）



流出率（当該地域の入院患者のうち、市外の医療機関へ入院した患者の割合）





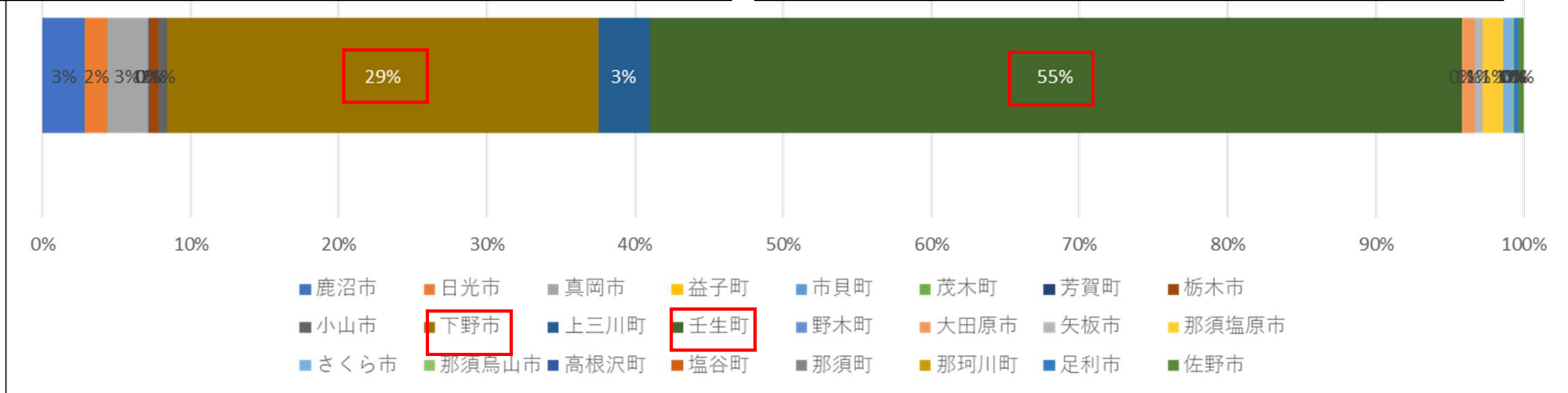
# 宇都宮医療圏在住の入院患者の流出状況②（令和4年度DPCデータ）

- 宇都宮市に住む患者のうち、市外の医療機関への入院状況を見ると、「**下野市**」「**壬生町**」の医療機関へ入院する**患者が多い**（主に宇都宮市西部、南部に住む患者が多い）
- 年代別の流出患者は「**70歳代**」「**60歳代**」「**80歳代**」の順に**多く**、これらで約半数を占める

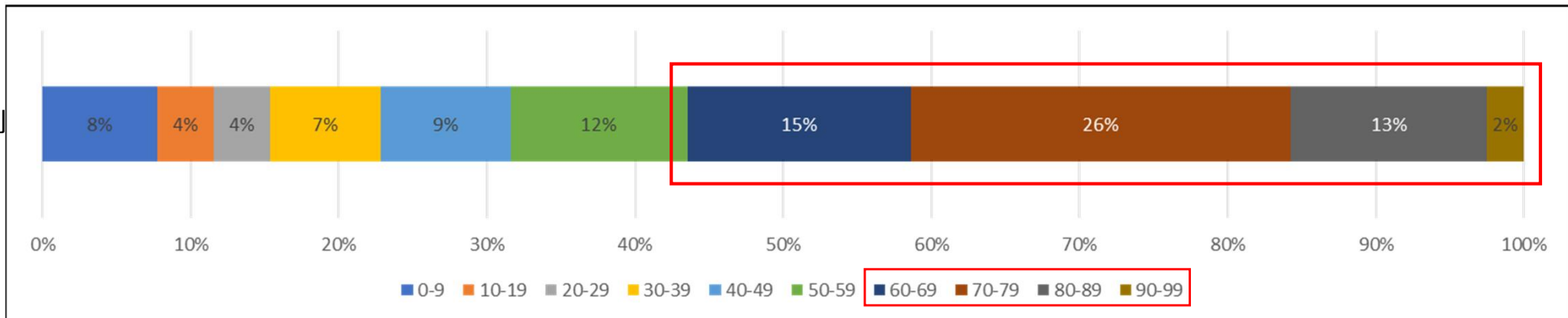
○自治医科大学附属病院へ入院する宇都宮に住む患者数：2,649人  
 （市内上位5の町名）  
 鶴田町（98人）、雀の宮（93人）、下栗町（79人）、  
 石井町（65人）陽東（53人）

○獨協医科大学病院へ入院する宇都宮市に住む患者数：5,510人  
 （市内上位5の町名）  
 鶴田町（287人）、西川田町（153人）雀の宮（131人）、  
 駒生町（120人）、兵庫塚（118人）

流出先市町別割合

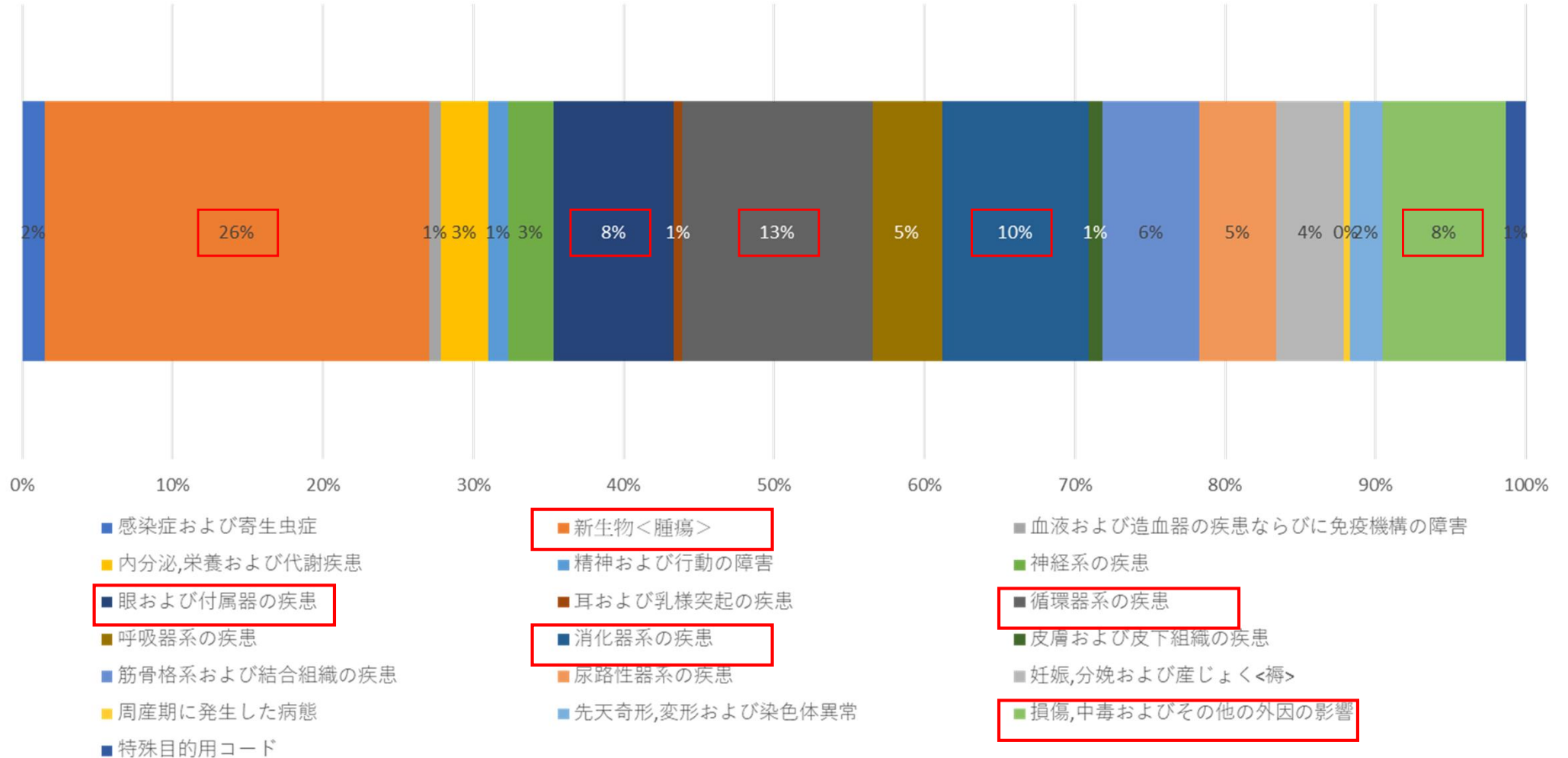


年齢階級別流出割合



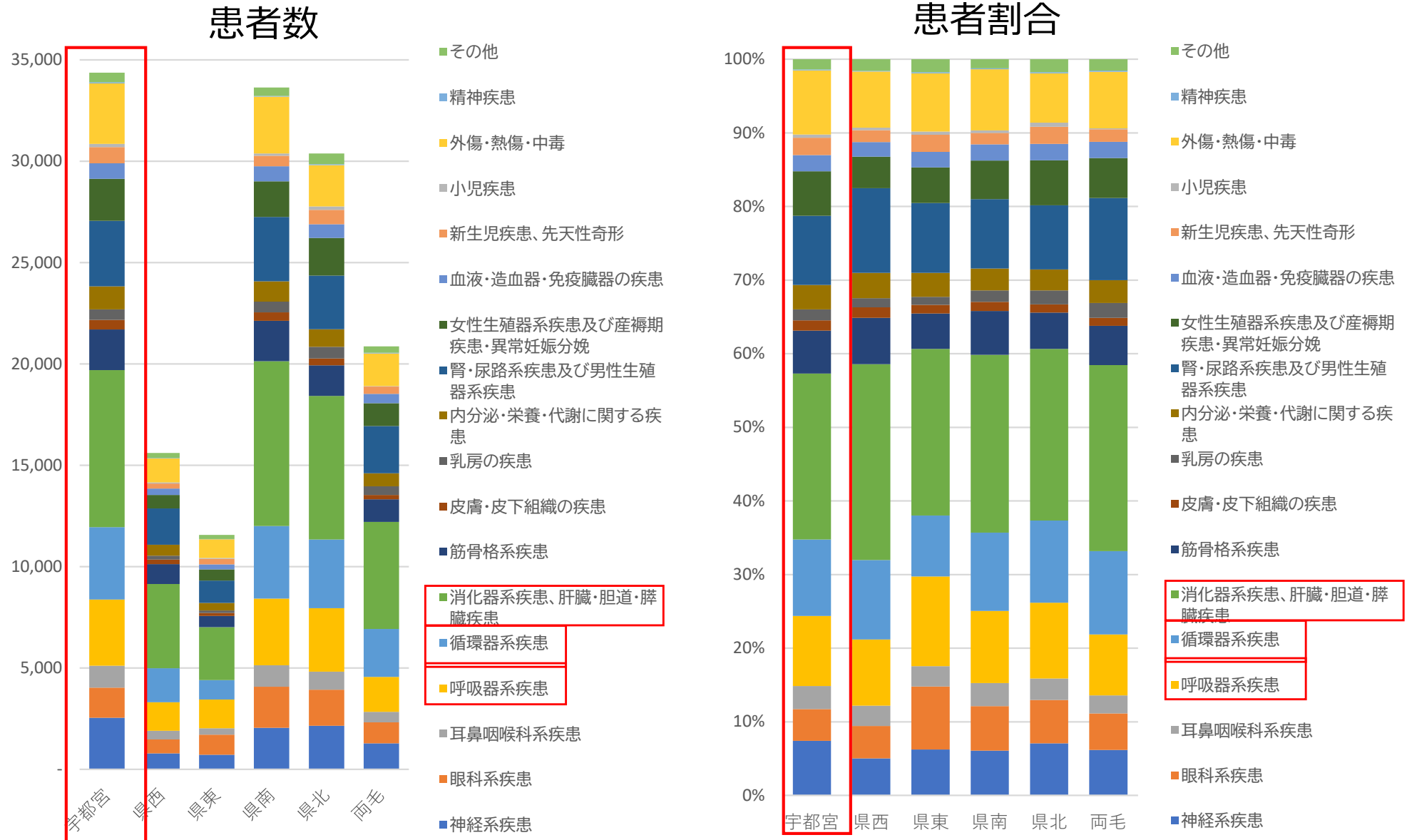
# 宇都宮医療圏在住の入院患者の流出状況③（令和4年度DPCデータ）

- 宇都宮市に住む患者のうち、市外の医療機関に入院した患者の疾患の割合をしてみると、「**新生物<腫瘍>**」「**循環器系の疾患**」「**消化器系の疾患**」「**損傷、中毒およびその他の外因の影響**」の割合が多い



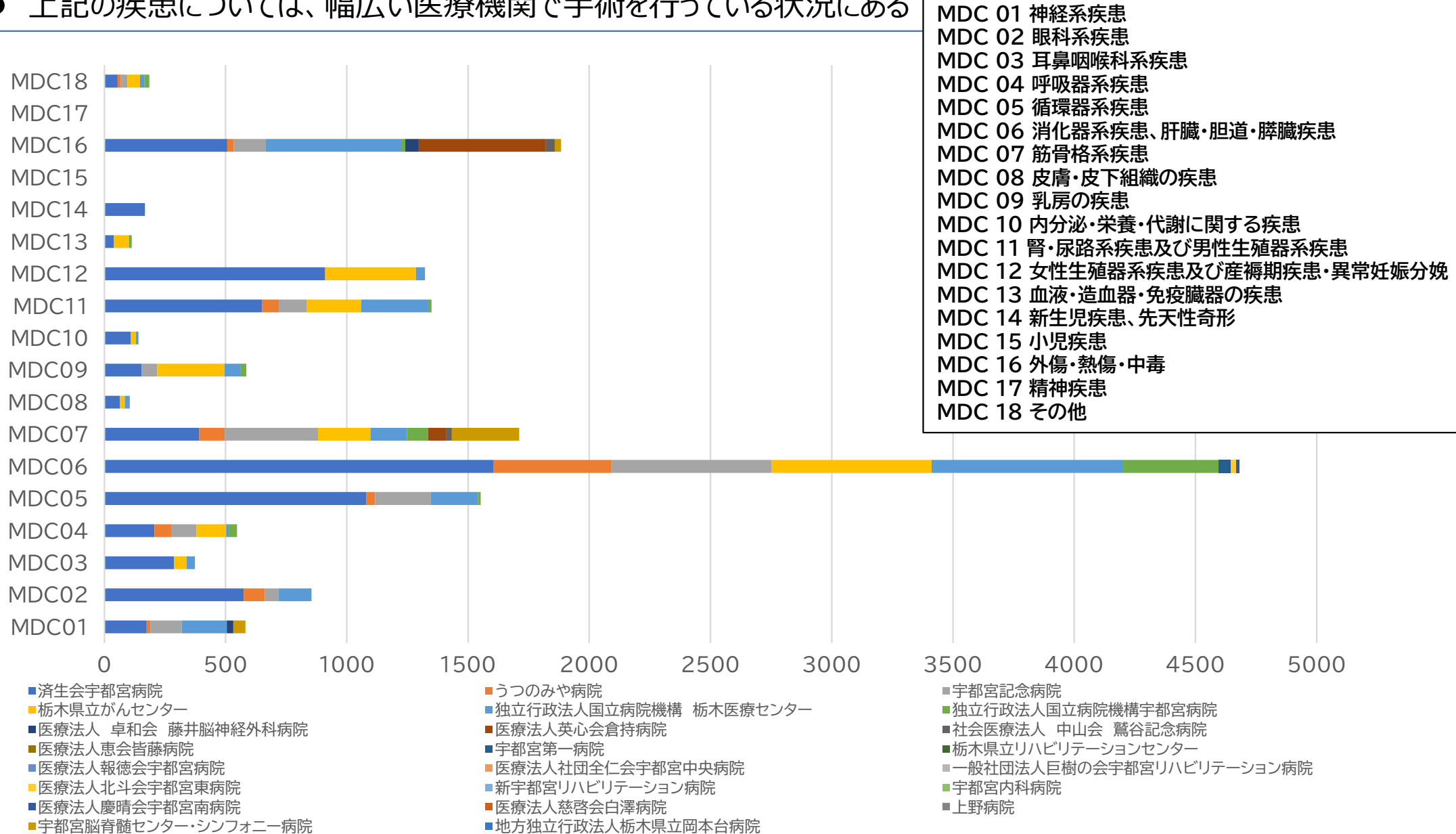
# 【再掲】MDC分類別入院患者の状況（令和4年度DPCオープンデータ）

- MDC分類別に入院患者の状況を見ると、宇都宮圏域においては、「呼吸器系疾患」「循環器系疾患」「消化器系疾患」の患者数、割合が多い



# 宇都宮医療圏 MDC別手術件数（医療機関分類）（令和4年度DPCオープンデータ）

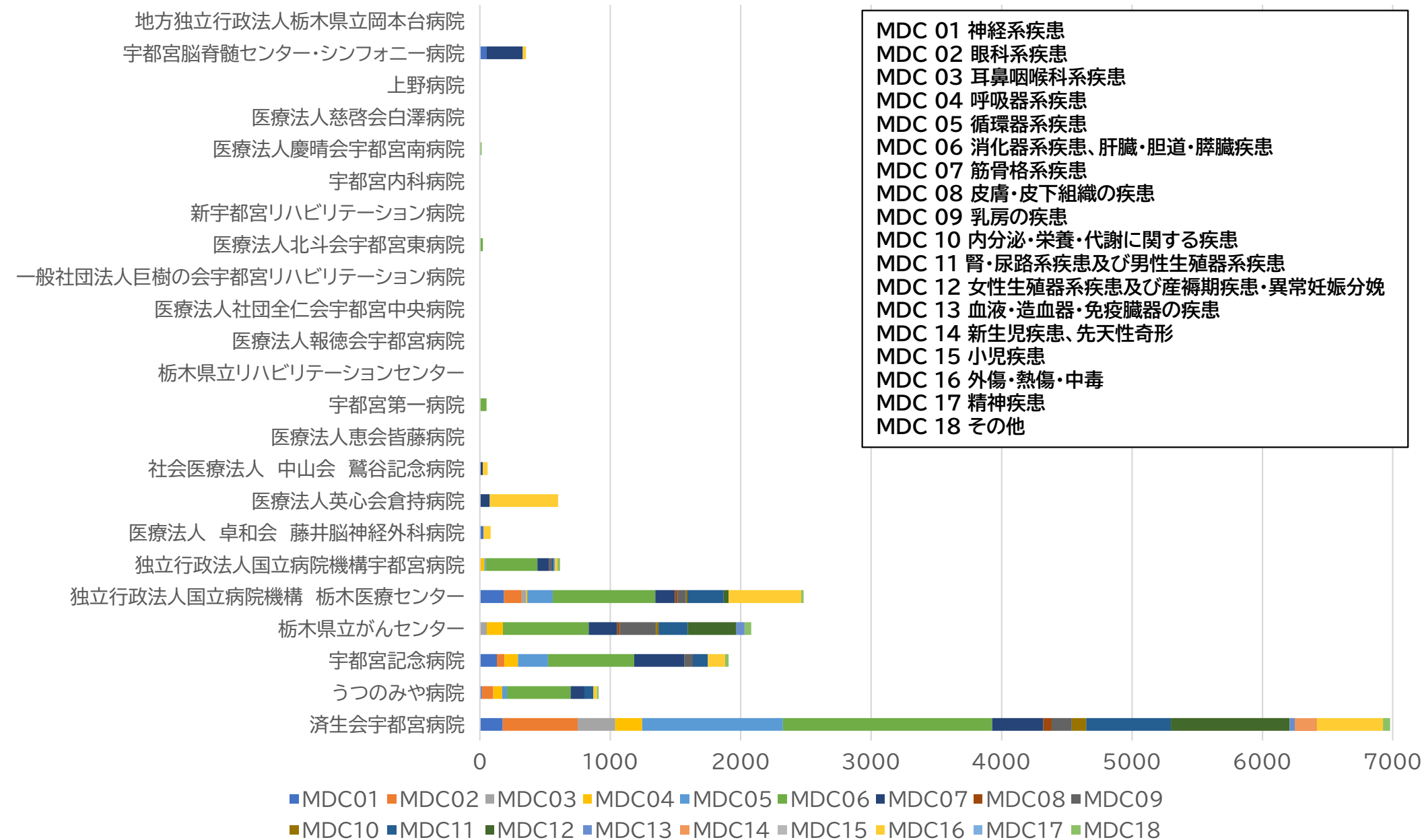
- 「循環器系疾患」、「消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患」、「筋骨格系疾患」、「外傷・熱傷・中毒」の手術件数が多い
- 上記の疾患については、幅広い医療機関で手術を行っている状況にある



出所：厚生労働省「令和4年度DPC導入の影響評価に関する調査」より作成

# 宇都宮医療圏 医療機関別手術件数（MDC分類）（令和4年度DPCオープンデータ）

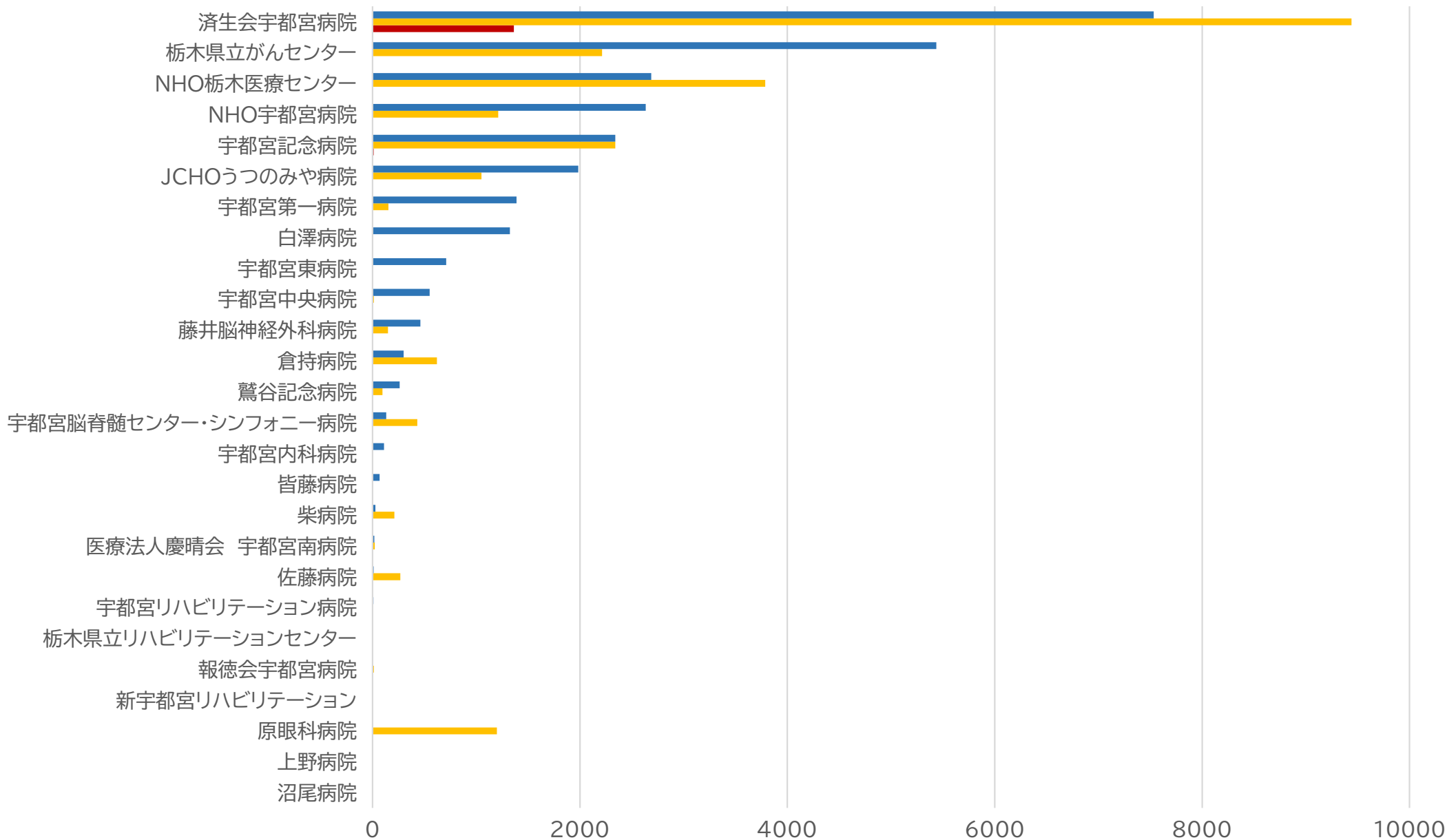
● 済生会宇都宮病院の手術件数が突出しており、医療機関により件数や領域・分野に差異がある状況



出所：厚生労働省「令和4年度DPC導入の影響評価に関する調査」より作成

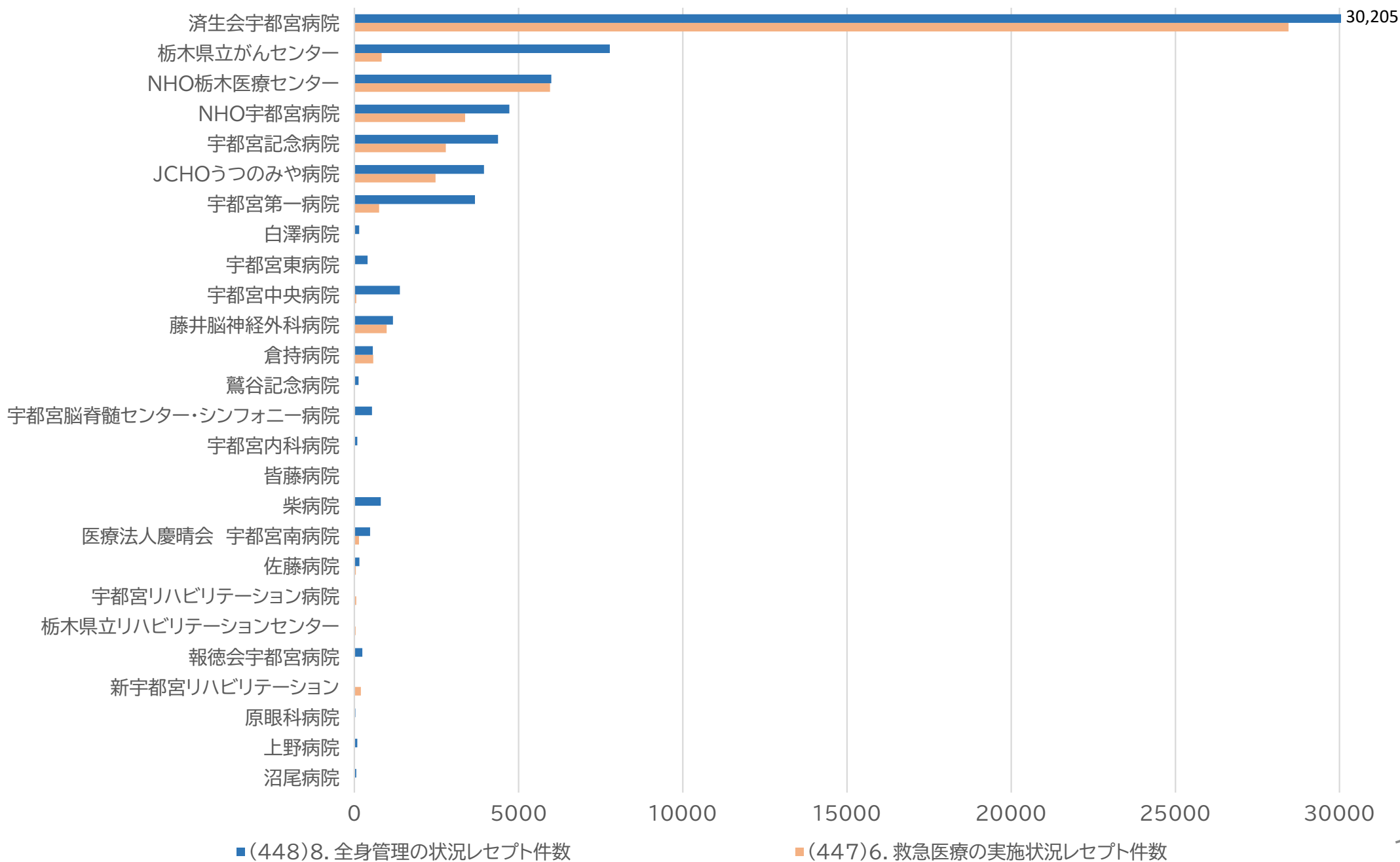
# 宇都宮医療圏 医療実績① (令和4年度病床機能報告)

- がん・循環病等の治療や幅広い手術の実績は済生会宇都宮病院、県立がんセンター、NHO栃木医療センター、NHO宇都宮病院、宇都宮記念病院、JCHOうつのみや病院などで多い



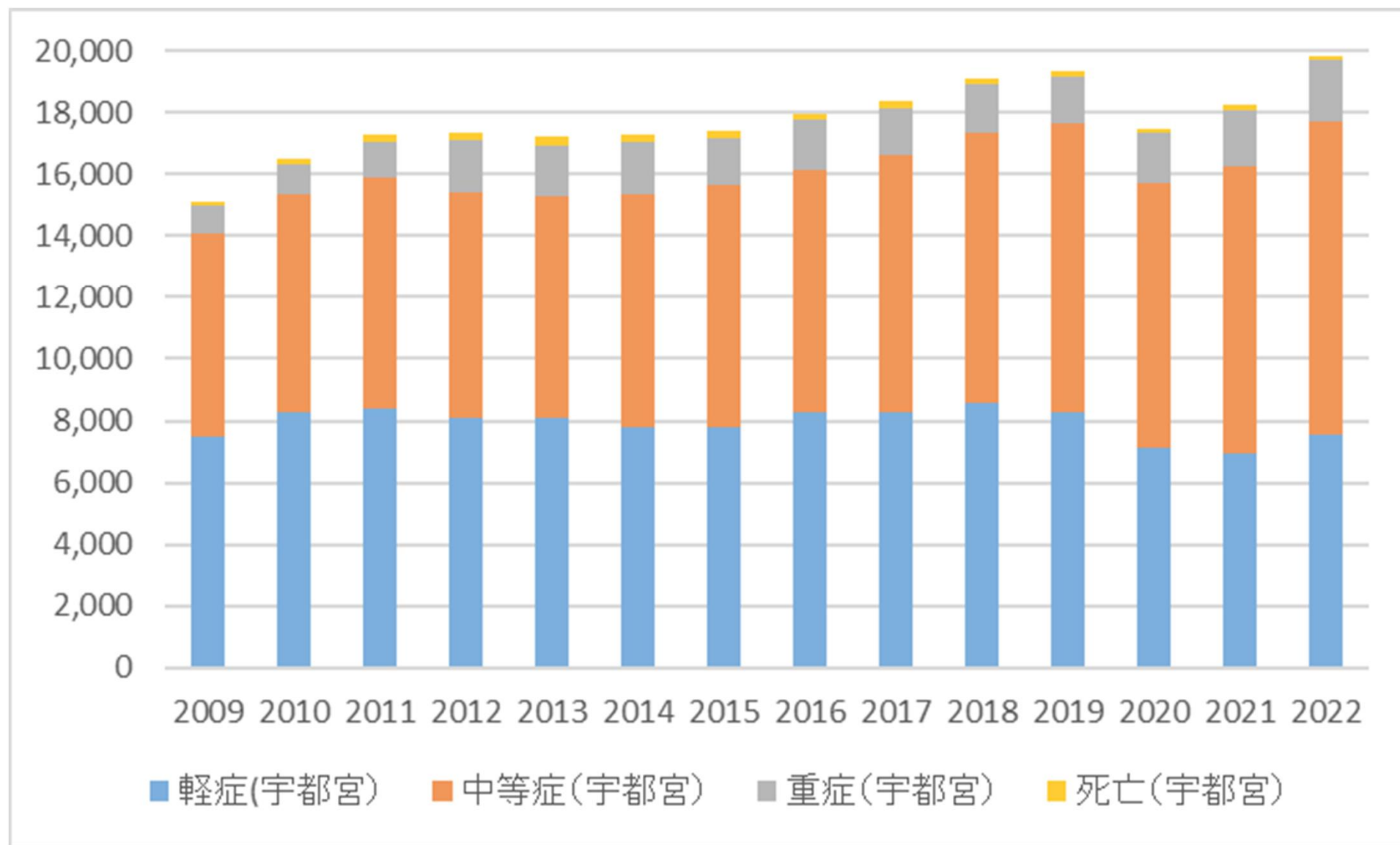
# 宇都宮医療圏 医療実績② (令和4年度病床機能報告)

● 全身管理及び救急医療の実績は済生会宇都宮病院が突出している



# 宇都宮市における重症度別救急搬送人員数の推移（人/年）

- 宇都宮市における重症度別救急搬送人員数を見ると、県全体の傾向と同様、**中等症の搬送人員数が増加傾向**にある



(救急搬送データから作成)



# 救急車の受け入れ状況（R4年度） 宇都宮医療圏

- 医師数と救急車受入件数を見ると、「**済生会宇都宮病院**」が突出して救急車を受け入れており、「**NHO栃木医療センター**」、「**宇都宮記念病院**」、「**JCHOうつのみや病院**」、「**NHO宇都宮病院**」が、限られた医師数の中で、救急車を受け入れている状況

